

# べっぶ 市議会だより

2018.5.1

No.139



温泉まつりの様子

## CONTENTS

- P2 当初予算における重点事業
- P3 予算決算特別委員会における主な質疑
- P4 審議結果一覧
- P5 議案質疑（入湯税引き上げ）常任委員会審査
- P6 ▶ P11 一般質問（16名が市政を問う）
- P12 副議長就任あいさつ、議会運営委員会委員の選任、編集後記

## 平成30年度 当初予算を可決

**一般会計 498億1000万円 (昨年度対比 2.3%増)**  
**特別会計 532億1400万円 (昨年度対比 10.6%増)**

「議会」と「執行部」が協力し、  
 公共の福祉を

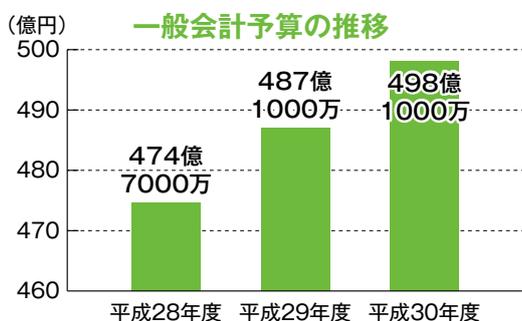
平成30年第1回定例会は3月1日から23日までの23日間にわたり開催いたしました。

今定例会では、市長提出議案39件、議員提出議案2件、請願1件、議員派遣1件の計43件について議決を行いました。

予算審査においては、「平成30年度は過去最高の予算規模の積極的予算となっておりますが、市の財政構造は依存財源に占める割合が高く、財政の硬直化が進んでいます。また市税収入や基金残高も減少しており、さらに今後、社会保障費は増加し、公共施設の再編等、避けては通れない課題が差し迫っています。

今後とも議会の意見を尊重した当初予算編成を望むとともに、議会に対する説明責任を果たして

「議会」と「執行部」が、互いの役割を強く自覚し、尊重し、協力することで、円滑な行政運営が行われるとともに、真の「公共の福祉」実現につながるものと確信している」などの意見がなされました。最終的にすべての議案が原案のとおり可決されました。



## 当初予算における重点事業

防災機能と地域力の向上	<b>避難所基盤整備事業 (拡充)</b> ..... 4067万円 災害時に避難者の衛生環境を保全するためマンホールトイレを整備するなど、避難所の機能充実を図ります。
公園活用や文化・スポーツ振興などによる生活の質の向上	<b>鉄輪地獄地帯公園整備事業 (拡充)</b> ..... 1億7772万円 1日中過ごせる公園の実現のため、鉄輪地獄地帯公園の拡大整備を行います。
	<b>国民文化祭開催事業 (新規)</b> ..... 2075万円 国民文化祭・全国障がい者芸術・文化祭を開催します。
別府で子どもを産み、育て、生きる取り組み	<b>保育所入所事業 (拡充)</b> ..... 30億1245万円 安心して子どもを預けられる環境を整備するため、私立保育園の定員増を図り、仕事と子育ての両立を支援します。
ひとを呼ぶ新しい魅力の創出	<b>学生大同窓会事業 (新規)</b> ..... 1000万円 湯～園地計画の魂を継ぐものとして、市内大学を卒業し国内外で活躍する卒業生や在校生によるプロジェクトを展開します。
	<b>別府海浜砂湯改修事業 (新規)</b> ..... 3354万円 別府海浜砂湯の全面改築を実施し、集客力の大幅増を図ります。

## 予算決算特別委員会における主な質疑

### ● 予算審査について

**問** 予算審査は単純に当該年度の予算案だけを確認すればいいとは考えていない。当該年度の予算編成というのは中長期的な財政の健全性を損なわない、持続可能なものであるかという観点から確認することが大事だ。よって新しく提案されている大きな投資案件が、今年度だけでなく今後も含めて全体でどのような投資規模になり、またその後の維持管理コストはどのようなようになっていくか、そこも確認する必要がある。現在のように経常収支比率が悪化し、さらにまた新しい事業が積極的に提案されている状況においては、どの程度の事業が見直され、廃止をされているか、そういったマネジメントはしっかり機能しているのか、そういった確認も大事なことだと思っている。私たち議

員は、責任ある判断をするためにはそれらの観点からも確認をしたいわけだが、議会に出されている資料にはそのようなものが揃っていない。

**答** 長野市長になられてからの実質的な予算編成は3年目にあたります。非常に積極的な事業を展開していることはいいことだと思いが、財政の健全性を損なうほどの事業展開をしていいとは思っていない。そもそも儲かる別府も成果が求められるし、財政も持続可能であるということを示す必要があるのではないか。

**問** 中期の財政プランの提示については、年度内に策定を予定しております第4次の行政改革推進計画においては、改革項目に掲げました具体的な取り組みを実施することによりまして、財政目標を堅持していくこ

とと考えております。

議会の議決の終わった後に出される第4次の行政改革推進計画で示すということだが、昨年の予算決算特別委員会でも第4次の行政改革推進計画に対する意見があつて、「この推進計画は平成30年度以降の予算編成に大きな影響を及ぼすものと考えられるため、その詳細を議会に説明することを求める」と議会はいつた後に議会に説明するとう。

しっかりと対応してもらいたい。



### ● 4「B」i 地域産業イノベーション推進について

**問** 4「B」iの一角であるB・D・I・I・N・Sについて、平成30年度は市の各課から事業委託を受ける形で1億1千万円、人件費と合わせて1億5千万円の予算を市が丸抱えしている。

**答** 市で行うよりも効率的・効果的であると考えています。

**問** 4「B」i事業は平成28年度3134万円を使い、販売額が25万円であった。決算委員会でもその具体的な方向性が示されていないとの指摘があつた。平成29年度は2915万円使い、200万円の売上だが、そのうちビームスに委託した金額はいくらか。

**答** 1188万円です。

**問** 約1200万円の委託をして200万円の売上。28年度も約1200万円を委託して25万円の売上であ

る。平成30年度はこの事業の総仕上げの年だと思う。平成30年度予算は3千万円があがつているが、販売目標は。

**答** 1億円です。

**問** 平成29年度は目標額が5000万円であったが、実際の販売額は200万円。平成30年度の1億円という目標につながるの

**答** B・D・I・I・N・Sの設立が遅れたことなどにより、計画通りにいっていないところもあります。ビームスと事業を行っているのは、今後の付加価値や企業文化、企業としての感性を共有してやっていきたいからです。5年後を目途に別府市と対等に仕事ができる組織を目指してやっていますので、市長の責任の下、必ず成功させます。

### 第1回定例会における議案の審議結果など

議案等番号	件名	議決結果	議案等番号	件名	議決結果
議第1号	平成29年度別府市一般会計補正予算(第5号)	原案可決 (全会一致)	議第23号	別府市国民健康保険条例及び別府市国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決 (多数)
議第2号	平成29年度別府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)		議第24号	別府市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第3号	平成29年度別府市競輪事業特別会計補正予算(第3号)		議第25号	別府市介護保険条例の一部改正について	原案可決 (多数)
議第4号	平成29年度別府市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)		議第26号	別府市指定地域密着型サービスの事業に係る申請者の要件並びに人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第5号	平成29年度別府市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)		議第27号	別府市指定居宅介護支援の事業に係る申請者の要件並びに人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	
議第6号	平成29年度別府市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)		議第28号	別府市未給水地域給水施設整備事業分担金徴収条例の制定について	
議第7号	平成29年度別府市水道事業会計補正予算(第1号)		議第29号	別府市別府勤労者体育センターの設置及び管理に関する条例の廃止について	
議第8号	平成30年度別府市一般会計予算	議第30号	別府市風致地区内における建築等の規制に関する条例の一部改正について		
議第9号	平成30年度別府市国民健康保険事業特別会計予算	議第31号	別府市都市公園の設置及び管理に関する条例の一部改正について		
議第10号	平成30年度別府市競輪事業特別会計予算	議第32号	別府市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について		
議第11号	平成30年度別府市公共用地先行取得事業特別会計予算	議第33号	別府市営再開発住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について		
議第12号	平成30年度別府市公共下水道事業特別会計予算	議第34号	別府市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について		
議第13号	平成30年度別府市地方卸売市場事業特別会計予算	議第35号	市道路線の認定及び廃止について		
議第14号	平成30年度別府市介護保険事業特別会計予算	議第36号	別府市営セーリング艇庫の長期かつ独占的な利用について	同意 (全会一致)	
議第15号	平成30年度別府市後期高齢者医療特別会計予算	議第37号	別府市職員の給与に関する条例及び単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について		
議第16号	平成30年度別府市水道事業会計予算	議第38号	別府市職員の退職手当に関する条例等の一部改正について	採択 (全会一致)	
議第17号	別府市税条例の一部改正について(入湯税)	議第39号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて(佐藤 久美子)		
議第18号	別府市税特別措置条例の制定について	請願第1号	精神障がい者に対する公共交通機関の運賃割引の適用を求める意見書に関する請願	原案可決 (全会一致)	
議第19号	別府市手数料条例の一部改正について	議員提出議案第1号	所有者不明の土地利用を求める意見書		
議第20号	別府市税外収入金の督促手数料等の徴収に関する条例の一部改正について	議員提出議案第2号	白タク行為の容認を旨とした規制改革に反対する意見書	原案可決 (全会一致)	
議第21号	別府市債権管理条例の制定について	議員派遣			
議第22号	別府市いじめ対策委員会等設置条例の制定について				

### 賛否の分かれた議案

議案番号	件名	議決結果	会派・議員名																							
			自民・創生					新風べっぶ				公明党			市民クラブ		自民クラブ	志士の会	日本共産党議員団	桃花善心の会						
			江藤彦	三ヶ尻正友	野口哲夫	国夷久夫	萩野忠好	安部一郎	阿部真一	山本一成	松川章三	野上泰生	森大輔	小野正明	堀本博行	市原隆生	荒金卓雄	穴井宏二	加藤信義	森山治	三重忠昭	首藤正	河野数則	松川峰生	黒木愛一郎	平野文活
議第8号	平成30年度別府市一般会計予算	可決(多数)	○	欠	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第9号	平成30年度別府市国民健康保険事業特別会計予算	可決(多数)	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第14号	平成30年度別府市介護保険事業特別会計予算	可決(多数)	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第17号	別府市税条例の一部改正について	可決(多数)	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第18号	別府市税特別措置条例の制定について	可決(多数)	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第22号	別府市いじめ対策委員会等設置条例の制定について	可決(多数)	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第23号	別府市国民健康保険条例及び別府市国民健康保険税条例の一部改正について	可決(多数)	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第25号	別府市介護保険条例の一部改正について	可決(多数)	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案賛成者は「○」、反対者は「×」、退席者は「-」、欠席者は「欠」、議長は「/」（採決に加わらない為）  
法律により、採決に加われない議案は「除」

## 議案質疑

今定例会議案質疑は、執行部が提出した平成29年度各会計補正予算や条例などの議案に対し、3月6日に7名の議員が質疑を行いました。そのうち主な質疑内容を掲載します。

### 入湯税引き上げについて 〈税率改正の概要〉

宿泊料金又は 飲食料金	税率（円）	
	現行	改正後
日帰り、 ～6,000円	変更なし	
6,001～ 50,000円	150	250
50,001円～	150	500

（平成31年3月31日までに施行）

**問** 引き上げにより、宿泊客の減少を懸念する声もある。理解を求める取り組みは。

**答** 引き上げについて1月に宿泊者対象のアンケート調査を行った結果、「使途を明確にすれば」という条件で4分の3の方々からは

ご賛同いただいております。市としては、旅館ホテル組合連合会の役員の方々始め、8名の事業関係者を含む「別府のみらい検討会議」を6回開催し、使途等について熱心な議論をしていただいております。これまでの検討結果と経緯については、2月5日に旅館ホテル組合連合会の役員会で、20日には特別徴収義務者となる事業者全員に対して説明会を行ったところであります。今後も組合単位に説明会を開きながら理解を求める努力を行います。

**問** 税金の管理方法や、使途の透明性確保については。

**答** 引き上げ部分は基金として管理し、透明性を図ることが適当と考えます。使途については、行政だけで

決めるのではなく、今後公民一体の新たな組織を設置して議論していきます。また、使途の状況は現在もホームページで充だ明細表等を公開していますが、今後はより積極的な説明が必要と思います。入湯税全体についての実績報告等をパンフレット、市ホームページ等で広報したいと考えています。

**問** 最優先の使途基準は、納税したお客様のメリットになることだが、具体的には。

**答** お客様の目線に立って決めることが重要と考えます。求められる使途として、温泉資源の保護、お客様の快適性の向上、またお客様の安全・安心の確保などの事業が考えられます。具体的にはこれから設置される公民一体の新しい組織で協議されますが、お客様の別府観光への要望を市ホームページや旅館ホテル事業者のご協力のもとに調査し、参考にしたいと考えています。

## 常任委員会審査

本会議での提案者の説明及び質疑が終了した後、さらに詳しく検討するため、常任委員会等に議案審査を付託しています。今定例会では、平成29年度補正予算や条例などの議案に対し審査を行いました。

### 総務企画消防委員会

#### 付託された議案

- ・ 一般会計補正予算（第5号）
  - ・ 別府市税条例の一部改正について
  - ・ 別府市税特別措置条例の制定について
- ほか8件

### 観光建設水道委員会

#### 付託された議案

- ・ 一般会計補正予算（第5号）
  - ・ 別府勤労者体育センターの設置及び管理に関する条例の廃止について
  - ・ 市道路線の認定及び廃止について
- ほか7件

### 厚生環境教育委員会

#### 付託された議案

- ・ 一般会計補正予算（第5号）
  - ・ 別府市いじめ対策委員会等設置条例の制定について
  - ・ 精神障がい者に対する公共交通機関の運賃割引の適用を求める意見書に関する請願
- ほか4件

採決におきましては、一部の議案について議員から反対の意思が示されましたが、採決の結果、全ての議案を可決すべきものと決定しました。

# 一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。3月議会では16名の議員が市当局の見解をたどりました。主な内容は次のとおりです。

## 洋式トイレの増設に対する現状

自民・創生

萩野 忠好 議員



二年前の市議会で一般質問した公共施設の洋式トイレの増設について、小中学校の整備状況は。

平成28年度6校の小学校の体育館に11カ所、29年度3校の小学校の体育館と教室棟に8カ所設置しました。

市の所管施設の公民館の現状についてはどうなっているか。

公会堂は男3女6、南部地区公民館は男3女3、

中部地区公民館は男1女2多目的2、西部地区公民館は女1で、平成30年度に男女各1ずつ増やします。北部地区公民館は男1女1、朝日大平山地区公民館は和式のみですが、平成31年度男2女2増やす予定です。

公園は多くあるが、洋式トイレの設置状況は。

トイレを設置している37カ所のうち、洋式トイレは23カ所です。

別府公園の3カ所のトイレは。

全て多目的トイレと女性用はあり、南側のトイレは男1があります。

市役所の洋式トイレの現状は。

GF男1女1多目的1、1階男1女3多目的1、2階男1、5階多目的1の合計10カ所です。昔と現在では、環境の変化により大きく違い、幼少期より洋式トイレの利用が多くなり、高齢者は腰やひざの障害もあり、留学生の多い別府市では今後も洋式トイレを増設することが大事で、観光客にも喜んでいただくためにも、旅館ホテル、観光施設や別府駅などへ観光課から洋式トイレの促進をお願いする。

## 職員の意識改革と公民連携課の役割

自民・創生

安部 一郎 議員



市民サービス向上のための素晴らしい取り組みが進んでいるが、随所に「お役所仕事」を感じる。旧態依然とした体制は一番の天敵。補助金に関する資料の

一部で、記入すべき改善点や自己評価などの記載がないものや、目的などが2年経っても全く同じものもあり、何を基準にしているか疑ってしまう。そのことを踏まえて、どのように職員の意識改革をしているのか。

行政に携わる上で、意識改革は重要であり、時代の変化に合わせて柔軟に変えていく必要があります。しかし容易に完成するものではありませんので、日々の業務や生活の中で住民と接し、意識を積極的に変えていく必要があります。そういう意味で、地域応援隊に期待している。

公民連携課が「新しい公共空間についてみんなで考える」というパンフレットを作っているが、公共空間のあり方を職員が徹底して学び直し、問題意識を持たないとおざなりになる。例えば市営住宅が他市町村より比較的多いことや、1棟に1人しか住んでいないケースがあることなどはこれまで手付かずにしてきた

## 地熱発電と温泉資源の保護

新風べっぶ

野上 泰生 議員



3月5日の温泉発電等対策審議会から市長に対して答申があった。市の考えは。

「温泉資源が減衰傾向」という評価は非常に重く受け止めています。

現在の審議会は学識経験者が大部分で、温泉を生業としている人や地域・環

境・まちづくりのグループが意見を言う場が用意されていない。今後は、より広範な意見が反映されるように条例改正すべきでは。

**答** 審議会のメンバー構成は、現状から変更することは想定していません。

**問** 指宿など九州の主要な温泉地では地熱開発計画には、多様な委員で構成された協議会の意見を参考にし、市長が同意・非同意の判断をする。別府市の条例もそのようにすべきで、市長が責任を持って判断すべき。

**答** 国の上位法もあり、また一自治体が独自に科学的な根拠のない判断を示すことは困難。従って市長の同意要項を条例に入れることは困難です。

**問** 上位法の趣旨を超えなければ条例制定はできると考える。科学的な根拠だけでは開発はストップできない。地域経済や地域社会への影響等も考慮しながら、責任者である市長が判断す

べきではないか。他の温泉地同様に市民が意見を言う場を用意し、市長が責任を持ち判断するべきだ。

**答** 市長の同意要項を入れるのは現状では難しいと考ええます。

森林遊歩道

新風べっぶ

まつかわ しょうぞう  
松川 章三 議員



**問** 別府市には素晴らしい自然の中に森林遊歩道がある。出来た経緯と全行程について伺いたい。

**答** 昭和61年に国民保養温泉地として、鉄輪・明礬・柴石が指定された。62年より明礬から柴石を結ぶ1・5キロが整備され、平成2年に完成した。

**問** 完成後28年が経っている。その間の維持管理はど

うなっていたのか。

**答** 平成27年度まで温泉課が毎年3回草刈業務を委託していた。平成28年度以降、通行禁止にしたため、草刈は実行していません。

**問** 現在の森林遊歩道は平成28年の熊本地震により遊歩道の一部が崩落、休憩所の破損等で利用者の安全性が確保されないため、通行禁止となっていることは知っている。ただ一部のマップや看板等で森林遊歩道の記述がまだある。歩こうとする人がいるのではないかと心配しているが、対応はどうしているのか。

**答** 森林遊歩道の起終点に通行止めの看板を掲示、また市公式ホームページ等で周知しています。

**問** 国の補助金事業で作られたこの遊歩道を、今後どのようにしていくのか。

**答** 単なる災害復旧ではなく、将来的な活用策が得られるよう、森林遊歩道のあ

り方も含めて調査研究を進めていきたいと思えます。

タブレット導入でペーパーレス化推進

公明党

あらかね たくお  
荒金 卓雄 議員



**問** 働き方改革の一つの手段として、タブレット端末を導入する自治体が増えていく。市役所での導入状況は。

**答** 平成27年度購入の3台を、ホームページ関連業務で利用中です。また希望する課に貸し出しをしています。

静岡県焼津市はペーパーレス化を推進している。私も視察に行き、半日費やした印刷製本作業が30分程度で済むと聞いた。会議資料の印刷作業を大きく省力化できると考える。別府市での導入にはセキュリティ対策も重要と考えるが、先進

事例を研究し、行政と議会への導入を検討すべきだ。

**問** 大分県が平成29年人口推計を公表した。別府市は1年間で、1020人減少している。その要因は何と考えるか。

**答** 自然動態より社会動態の減少率の変化が大きく、人口減少の問題点は社会動態だと考えます。

**問** 人口減少を身近な問題と捉え、地域住民に当事者意識を持ってもらうことが必要ではないか。

**答** 人口減少は税収減による行政サービス水準の低下や医療・福祉などのサービス縮小、地域コミュニティの機能低下など、大きな影響が考えられます。「ひとまもり・まちまもり懇談会」の中で、人口の年齢構成や自然・社会増減の状況を説明し、問題意識の啓発に努めます。また、各地域の将来の人口推計ビジョンについては、調査研究していきます。

行財政、上下水道改革、  
地下水保護

自民クラブ

首藤 しゅとう  
正 ただし  
議員



**問** これからの行財政改革をどのように進めていくのか。

**答** 第4次行政改革推進計画を策定し、平成30年度から5カ年計画で行革を推進していきます。今後の財政収支の見通しを踏まえ、財政目標として掲げた財政調整用基金残高50億円を計画終了時点で確保すべく、外部委員による検証評価を加えながら行革に取り組みます。

**問** 水道局（上水道事業）と建設部下水道課（下水道事業）との一元化を図り、上下水道局としての組織改革を行い、管理運営の一元化で行財政改革の目玉として推進を早急に実施すべきではないか。

**答** 現在、一元化に係る課題等の解決に向けて、水道局、下水道課、関係課と前向きに協議を重ねておりますので、いままじし時間をいただきたいと思います。

**問** 温泉地別府にとつて、温泉の源である地下水の保全是別府市の責務であります。現在、市内に地下水利用の井戸及び揚水設備の数と採取水量についての把握状況を説明してください。

**答** 市内にあります井戸数及び揚水設備数、採取水量については把握できておりません。

**問** 温泉の保護保全、上水道事業、下水道事業等に影響を及ぼすものであり、地下水の管理運営策を定めるべきではないか。

**答** 地下水採取が温泉等に与える影響、保護、規制等について調査研究を行い、有識者、関係各課と連携して、今後の方向性を探っていきます。

亀川地区  
都市再生整備計画事業

自民クラブ

河野 かわの  
数則 かずのり  
議員



**問** 亀川駅西口広場及び山田関の江線の進捗状況と今後の完成予定は。

**答** 亀川駅西口広場及び山田関の江線の進捗状況におきましては、当初の予定より遅れが出ておりますが、今後完成へ向けて努力してまいります。

**問** 市役所亀川出張所が現在の地に置かれたのは、市制合併前の明治時代より120年以上の歴史がある。あすなる館への移転について、どうして地域住民に丁寧な説明しないのか。

**答** 公共施設マネジメントにより財政上の問題だけで決めるべきものでなく、亀川地区都市再生整備計画事業とも照らし合わせ、地域住民

に寄り添い、住民にとつてより利便性が高く、歴史も鑑み、場所を考えるべきであるかどうか。また、仮に現在よりも道路状況や公共交通アクセスの悪い場所へ移転するのなら、しっかりとした整備を行い、地域住民が利用しやすい状況をつくるべきである。今のままでの状況なら、移転に反対と言わざるを得ない。

**答** 今後、地域住民のみなさんへの説明、理解、方向性を協議していきたいと思っております。

障がい者・高齢者の方にやさしいまちづくり

公明党

穴井 あない  
宏二 こうじ  
議員



**問** 障がい者の方、高齢者の方、また難病とたたかっている方などが、外出で買い物や食事を楽しんだりする場合にどこにどういふ

うに行けば良いかわからないケースがある。別府市の施設のバリアフリー状況を確認する方法はどうか。

**答** 障害福祉課では、「大分バリアフリーマップ」に市内の各種施設の情報を登録し、情報発信、強化を図るためバリアフリー情報を更新しています。また、市のホームページ上で情報を提供しています。市内には6000の事業所があり、登録されているのは468カ所です。今後も周知に努め、600カ所を目標に引き続き調査を行っていきます。

**問** 佐世保市の実証実験ではスマートフォンやタブレット端末で利用できる共有アプリ「ウィーログ」の実証実験が行われた。これはカーナビのシステムと同じで、歩行者や車いす利用者の方の通行実績情報を収集して、バリアフリーマップを作成するものだが、別府市でも活用してはどうか。

**答** 「ウィーログ」は、スマー

トフォンのGPS情報、加速度センサーにより位置や路面の段差、投稿者の画像添付により各種の情報が収集できる共有アプリで、バリアフリー情報が蓄積される有効なアプリだと考えます。今後は、別府市障害者自立支援協議会等を通じて、広く関係者各位に情報の提供を行います。

別府の財政課題と火山対策

新風べっぶ

森 大輔 議員



問 現在の市税状況の最も注視すべき点は、市税の約90%を支える市民税や固定資産税の税収がこの10年間で約10億3千万円減少していること。この主な要因は、個人所得の伸び悩み、法人数や営業利益の減少、人口減少。この三つの要因を改善し、市税の増収を図ることが今の別府市の大き

な課題。今回入湯税増税が決まったが、今後どのように市税の増収に繋がっていくのか。

答 入湯税の引き上げ部分で観光振興を行い、別府のブランド力を向上させ、観光産業全体の高揚を図ります。それを個人及び法人の所得増加による市民税の増収、資産価値の上昇に繋がりたいと考えます。

別府市発展の為に、増税で得る財源が効果的に使われるよう求めたい。

問 今年1月に草津本白根山が噴火した。活火山を有する別府としても温泉観光地の火山災害は「対岸の火事」とは言えない。現在の鶴見岳、伽藍岳の噴火警戒レベルは。

答 火山活動に変化はなく、噴火の兆候は観測されていないことから噴火警戒レベルは1です。

問 本白根山も、噴火直前まで噴火警戒レベルは1だった。つまり、噴火警戒

レベルが1でも突然噴火するリスクはある。このことを踏まえて、今後の火山対策をどのように進めるのか。

答 具体的な避難計画の策定を早急に進めると共に、有効なハード面の整備も調査研究してまいります。

会計年度任用職員制度、指定管理者制度

市民クラブ

加藤 信康 議員



問 地方公務員法及び地方自治法の一部改正があり、平成32年4月から「会計年度任用職員制度」が始まる。何がどう変わるのか。

答 今回の改正により、これまでの臨時・非常勤職員等の任用や服務規律等の整備が図られ、また、特別職非常勤職員及び臨時的任用職員の任用要件が明確にされることとなります。さら

に「会計年度任用職員」には期末手当が支給されるほか、昇給や、育児休暇などの各種休暇制度が適用されるなど、待遇面での改善が図られることとなります。

問 大幅な改正であり、人件費等の見直しが必要となる。今後のスケジュールは。

答 平成30年度中に非正規職員全体の業務内容等を個別に精査し、その後、人件費や配置する人数の確定を行います。これと並行して、条例改正や、電算システムの改修等を行い、平成31年度までに全ての作業を終えていきたいと思えます。

問 指定管理者制度におけるインセンティブについて、市としての基準を設けるべきではないか。

答 担当部署で構成する指定管理者制度連絡協議会を設置し、制度上の課題や日常の管理運営での実践事例などを協議、共有してまいります。インセンティブの在り方については、横の連携と

情報の共有を図りながら、この協議会の中で検討していきたいと思えます。

市民多様性の時代に向き合う別府市

桃花善心の会

竹内 善浩 議員



問 多様な子どもたちの個性をどのように聞き、対応しているのか。

答 担任、養護教諭、図書館司書、スクールサポーター、スクールカウンセラーなどの関わり、教育相談窓口での子どもや保護者からの直接相談、「チャイルドラインおおいた」「大分いのちの電話」などの相談窓口を学校でも紹介し、子どもたちの声を聴き、学校、教育委員会、福祉担当課、関係団体等の連携対応を行っています。

問 別府市は、パートナー

シップをどう理解しているか。

**答** 戸籍上、法的に婚姻でない二者間での社会生活関係を「パートナーシップ」と定義され、人権として尊重されるものと理解しています。

また、自治体により、「パートナーシップ証明書」や「パートナーシップ宣誓書受領証」を発行する自治体があります。性の多様性を認め、互いの人権が尊重される心豊かな「国際観光温泉文化都市」の実現に、LGBTに関する正しい知識の普及や啓発活動に取り組み必要があると認識しています。

**介護保険料・教員の働き方**

日本共産党議員団

平野 文活 議員



**問** 4月からの第7期介護保険計画での介護保険料はどのようになるのか。

**答** 標準額は第6期の5739円から205円引き上げ、5944円となり、県下で高いほうから8番目です。

**問** 有権者の約4割に対して約1億円の負担増となる。所得段階を現在の9段階からさらに細分化することや一般会計から法定外繰り入れをするなどにより、加入者の負担を軽減すべきではないか。

**答** 所得段階については今後の検討課題ですが、法定外繰り入れは現時点では考えていません。介護予防等により負担軽減につなげたいと思います。

**問** 平成21年から5年間で、教員の長期病休者は68人、うちメンタルは36人である。現状はどうか。

**答** 平成27年からの3年間で、長期病休者46人で、うちメンタルは13人です。

**問** 国は中教審や文科省から業務改善のための考え方は

や具体的な支援メニューが示されている。別府市の取り組みはどうか。

**答** 3月末までに市教委としての方針を示し、新年度予算案でも支援策を盛り込んでいます。

**問** 業務改善だけでは限界がある。「1時間の授業準備には1時間必要」と文科省は言うが、そのためには教員定数の大幅増員、授業時間の削減など抜本的な対策が必要だがどうか。

**答** 何よりも子ども達のために、教員の多忙化対策は急務と認識しています。

**高齢者の買い物困窮**

公明党

市原 隆生 議員



**問** 亀川商店街でも今年2月いっぱいマルシヨク亀

川店が閉店した。その理由として、利用客の減少と建物の老朽化とのことだが、このように商店街の核店舗が無くなる状況は他の地域でも進んでいくのではないかと心配している。市としてはどう把握しているのか。

**答** 各商店街が抱える問題については、商工会議所の担当経営相談員が巡回訪問を行い、課題解決に向けた取り組みの支援を行っています。

**問** 店舗の閉店が徐々に進む中で買い物に困窮している市民がいる。特に、独居や夫婦など、高齢者のみの世帯では毎日の食料品の購入にも困っている方がおり、自動車免許証の返納が進む中で、深刻の度合いが増している。どのような支援ができるかと考えているのか。

**答** 各商店街向けには、商工会議所と連携を図りながら地元消費者の利便性向上に向けた取り組みに、一定の支援を行いたいと思います。これまで日用品の買

物の中心となつていよう

な店舗の閉店などにより、特に高齢者の買い物困窮することが予想される中で、行政としては宅配サービスを行っている市内業者等への働きかけについても福祉部門とも連携をしながら調査・研究を進めたいと考えています。

**民生委員制度**

志士の会・自民

松川 峰生 議員



**問** 昨年、民生委員制度が発足し100周年を迎え、その役割は創設当時の救済対策から大きく変遷し、近年核家族化や少子高齢化など地域社会の結びつきが希薄化している中、その任はますます重要になっていくが、その役割を担う民生委員のなり手不足など課題も多い。しかも近年民生委員の高齢化が著しく、年齢制

限も75歳となっているが、選任はどのようになっているのか。

**答** 男女比の極端な隔たりがなく、将来にわたって積極的な活動が行えるよう75歳未満の者を選任するよう努めること、なお、年齢要件については地域の実情を踏まえ、弾力的な運用が可能であるとなっています。

**問** 民生委員の活動日数は。

**答** 28年度では、一人平均173日です。

**問** なってもらえない背景として、高齢化が進み活動日数も多く、体力的負担などがあるのでは。

**答** 民生委員の平均年齢は約67歳であり、元気に活動していただいております。一部欠員のある地域は17地域中4地区であります。民生委員は地域の見守り役、身近な相談相手、高齢者や障がい者などの支援が必要な人の相談に応じ、福祉事務所、保健所など連絡調整

し活動してはいますが、今後とも行政と各自治会が密に連携し、民生委員の不足解消に努めていきたいと思っております。

保険者努力支援制度

公明党

堀本 博行 議員



**問** 今年から国保が都道府県に統合され、これを機会に青天井に膨らむ医療費の抑制に取り組む。国は平成30年度の医療費を42兆3千億円と見込んでおり、平成37年には56兆円に膨らむ医療費を48兆円に抑えるべく、目標値を定めている。今回の保険者努力支援制度の中で重点的に取り組む項目は。

**答** 保険者の共通指標として六つの指標が示されており、中でも特定健診・特定保健指導の受診率向上、糖

尿病等の重症化予防の取り組み状況が大きな項目です。

**問** 今回の予算決算特別委員会の答弁に土日・夜間健診、さらにガン健診等と特定健診を同時にできるようにするという答弁があったが、全国的には様々な受診率向上のための取り組みがなされている。例えば、県下のどこの医療機関でも受診できる体制や、受診者に電子マネーを付与したり、抽選で商品券や商品があったる取り組み、また50名に1万円の商品券を贈り、当選者は市報で受診番号を発表するというユニークな取り組みなどがある。別府市でも検討してはどうか。

**答** 県内の特定健診受託医療機関であれば、別府市民が県内どこでも特定健診を受診することが可能ですし、他の自治体住民が別府市内で受診することも可能となります。また、別府市の特定健診の受診率は40%前後を推移している状況であります。様々な方策を積極的に考えてまいります。

B・biz LINKSのガバナンス

自民・創生

阿部 真一 議員



**問** 一般社団法人B・biz LINKSの定款では毎年事業年度終了後、事業報告や決算書類を作成し、監事の監査を受け、理事会の議を経て、定時社員総会にて報告及び承認を受けるとなっている。別府市や市議会にはどのような報告があるのか。

**答** 別府市はB・biz LINKSの基金に拠出しており、地方自治法の規定により市議会に対して経営状況を説明する資料を提出することが定められています。社員総会が6月末までに開催されますので、9月議会にて報告したいと考えています。

**問** 法的には経営状況の報告書が議会に報告されることですが、実際の事業

の実施にあたっては、どのような規律をもって事業契約を交わすのか。組織としてのガバナンスをどのように考えているのか。

**答** B・biz LINKSが行う受託事業につきましては仕様書等を作成し、理事会の承認後、市と委託契約をすることになります。また、事業の実施にあたって外部に委託せざるを得ないものにつきましては、最も事業効果が見込まれる相手と市の契約事務規則に準じた方法を用いて契約することになります。当面は財源を市に依存することになりますので、常にガバナンスを意識し、市のルールを基本として運営してまいります。

平成30年第2回定例会(予定)

- 6月14日 議案上程
- 19日 議案質疑
- 委員会付託
- 20日 委員会審査
- 21、22、25日 一般質問
- 27日 委員長報告
- 討論・表決

※日程は変更することがあります。

第2回定例会の請願の受理期限は、6月5日(火)17時です。

## 副議長就任



副議長

森 大輔

副議長として、今後も別府市を日本の温泉都市・国際観光都市として世界に伝え広めるべく、観光地としての魅力向上、市民生活・福祉の充実、そして別府市発展のために、誠心誠意取り組んでまいります。

## 議会運営委員会

議事日程などの議会運営や会議規則などを協議、調査する議会運営委員会の委員が交代しました。

委員長	堀本 博行
副委員長	萩野 忠好
委員	安部 一郎
	加藤 信康
	山本 一成
	小野 正明
	松川 峰生
	河野 数則

## 本会議を

中継しています



別府市議会では、市民の皆様が議会をより身近に感じていただけるよう、ケーブルテレビとインターネットによる本会議の放送を行っています。

## 放送日時

本会議開催日（午前10時から）

## 放送内容

議案の提案理由説明、議案質疑、一般質問など

## 放送メディア

## ケーブルテレビでの中継

CTBメディア

とんぼチャンネルで生中継します。

## インターネットでの中継

別府市議会ホームページ

<http://www.city.beppu.oita.jp/gikai/>

にアクセスしてお入りください。

（また、全日程終了後、概ね1週間後から約1年間録画中継を放映しています。）

※議会議中継は公式記録ではありません。

公式記録は本会議後に調整する会議録となります。

## 編集後記



平成30年、新年度を迎え、新たな環境に身を置かれ、希望に胸を膨らませている市民の方も多くいらっしゃるのでないかと拝察申し上げます。市政においても現市長が4年目を迎え、今年が任期総仕上げの年として3月議会に新年度当初予算が提案されたところです。議会としては、昨年からの予算、決算の循環性を図るために議員全員からなる「予算決算特別委員会」を設置し、今般提案された予算案について慎重審議を行いました。さまざまな意見が出されましたが、賛成多数により可決致しました。9月議会においては前年度決算審査を行い、ここでも意見を付して次年度予算に反映させるべく審議を行っております。議会は執行部に対しての「チェック機関」としての役割を果たすべく常に進化をしなければなりません。今後とも市民皆様のご理解を賜り、ご意見を頂きますようお願い申し上げます。

広報広聴委員会委員

小野 正明